

IV Report

IWDM 2014 in Gifu 開催

12th International Workshop on Breast Imaging (IWDM2014: プレストイメーシングに関する第12回国際ワークショップ)が2014年6月29日(日)~7月2日(水)までの4日間、岐阜市のじゅうろくプラザにて開催された。大会長は、IWDMのScientific Program Committee委員である藤田広志氏(岐阜大学大学院医学系研究科教授)が務めた。

プレストイメーシングの国際ワークショップであるIWDMは、1993年の第1回大会から20年以上にわたり、2年に1回、主に欧米で開催されてきた。10回大会までは、International Workshop on Digital Mammography(略称IWDM)だったが、研究内容はマンモグラフィに限定されるものではなく、近年は超音波やMRIに関する発表が増加していることから、2012年の第11回大会からはIWDMの略称は残しつつ、International Workshop on Breast Imagingという名称が使われるようになった。今回は上記の変更から2回目の大会となる。

IWDMは、世界各国から医用物理学、医用工学分野の研究者・技術者をはじめ、放射線科医や診療放射線技師、企業関係者などが参加し、親しく活発な議論を交わす貴重な場となっている。今回の日本におけるIWDM2014は、初めてのアジア開催となる。



開会の挨拶をする
藤田広志 大会長



会場風景



Poster Session会場

6月30日(月)午前8時20分からのオープニングで、藤田大会長が開会の挨拶を行った。今回は、Plenary Lecture 1題、Keynote Talk 8題、Luncheon Seminar 2題が特別講演として企画された。一般演題は20か国から122題の応募があり、うち口演発表が27題、ポスター発表が76題採択された(採択率84%)。参加者は、企業関係者なども含めて約250名に上り、日本を含むアジアから86名、欧州から52名、北米大陸から27名、豪州から6名という内訳である。会期中に行われたTea Ceremony“茶道”や7月1日(火)のGala Dinnerにおける十二単の着付けショーなど、日本文化の紹介イベントも企画され好評だった。

Sessionは3日間で9つのテーマ(Screening Outcomes, Ultrasound, Clinical Evaluation, Breast Density, Imaging Physics I, CAD, Tomosynthesis, Imaging Physics II, ICT & Image Processing)が設けられ、それぞれ冒頭にKeynoteの講演が行われた。これら9つのテーマは、Breast Imaging

にとって重要な研究課題であり、各分野の第一線の研究者による発表が展開された。

6月30日(月)には、Plenary Lectureとして、東北大学教授の大内憲明氏(Noriaki Ohuchi: Tohoku University Graduate School of Medicine, Japan)によるJ-STARTの分析データの最新情報が披露され注目を集めた。「Effectiveness of Ultrasonography Screening for Breast Cancer; Up-dated Data from the RCT of 76, 196 Women Aged 40-49」と題した講演で大内氏は、2007~2011年の5年間にわたって実施された厚生労働省の国家的プロジェクト“J-START”(Japan Strategic Anti-cancer Randomized Trial)について紹介。大内氏が研究リーダーを務めるJ-STARTは、マンモグラフィに超音波検査を併用する検診と併用しない検診の比較試験で、40歳代の女性10万人(目標)を対象に実施された。超音波検診の有効性を検証する世界的にも初めての大規模RCTであり、全国42施設

が参加し、2011年3月時点で7万6196名の受診者が参加した。現在、J-STARTのデータは中央データセンターで解析中だが、超音波検査の有効性が証明され、乳がんの早期発見率の向上と乳がん死亡の減少に寄与することを確信していると述べた。

今回の第13回IWDM 2016は、スウェーデンのマルメで開催される予定である。

Session 1: Screening Outcomes



Chair: Elizabeth A. Krupinski



Andrew D. A. Maidment



Chair: Maryellen L. Giger



Ruey-Feng Chang



Chair: Eriko Tohno



Tsuyoshi Shiina

Plenary Lecture



Chair: Hiroshi Fujita



Noriaki Ohuchi



Chair: Etta D. Pisano



Woo Kyung Moon



Chair: Martin J. Yaffe



Kwan-Hoong Ng

Session 3: Clinical Evaluation

Session 4: Breast Density